

卓話

会員増強について

会員増強・維持委員長 坂倉儀郎君

去る7月26日(日)、ベルクラシック甲府で、11時より3時半迄の予定で会員増強セミナーが開催されました。



井上地区研修リーダーの卓話の後、1時間程、テーブル別に各クラブの委員長がそれぞれ会員維持の知恵を話し合いました。それを参考に全体会議が1時間強ありました。テーブルは全部で11卓、その他役員が7名、1卓は9名での構成でした。(約110名)

私のテーブルは男性7名、女性2名で、それぞれ離れた場所のクラブでした。どちらも現状維持に苦労している話が多く、女性会員からも活発な発言がありました。3年連続委員長をいっている方もいました。女性会員については

会員増強の近道ではありますが、多ければ多いで種々問題があり、又1~2名ではそれも大変等、意見のあるところでした。

会員増強の方法で、年会費の減額、月割での納金、入会金の減額等努力している様でした。その他当北クラブで過去実行した、例えば入会推薦候補者の例会招待等、事例が多くありました。

第2620地区では、2003年より2009年迄、3822名から3225名と年平均で、100名程減少しているのが現実です。委員長の中には、相応しい会員候補者がいなければ減少も止むを得ない。数だけ増やしても、との意見もありました。これには反論者も多かった。

以上の勉強の結果を参考にして、これからの会員増強に年間を通して努力したいと思います。会員皆様のご協力をお願いします。本日は道部パストガバナーに卓話をお願いしてあります。

卓話

8月は会員増強月間です

地区会員増強・維持委員会アドバイザー 道部 兼君

1) 世界・日本・地区の会員状況

世界200カ国以上のロータリー会員数は約122万人、日本は約9千500人、第2620地区は3千300人で最近10年間で世界は約2万3千人増加しているのに対し日本は約3万2千人減、地区は約900人減少している。



2) 会員減少がもたらしたもの

国際ロータリー(RI)の理事を選出するためのクラブの集団をゾーンという。1ゾーン当り会員数3万5千人としているが、日本は会員数減少により4ゾーンから3ゾーンに減少した。厳密には日本は2.5ゾーンとなる場所であった。2.5ゾーンになるとRI理事に毎年1名の選出ができなくなり、RIに今まで多大な貢献をしていた日本の発言力が低下してしまう危機にあった。幸い努力により3ゾーンを保つことができ、今まで通りとなる。

その前提として日本の会員増強が急務であることが必要である。

3) なぜ会員増強が必要か

クラブにおいて、増強がされないと高齢化、活動のマンネリ化、会員の退会、活動の停滞をきたす。奉仕活動の人材不足、奉仕活動に新しいアイデアが必要、会員数が

多いほど活発な奉仕活動ができる。さらに退会者を無くすことによって会員維持も大切である。

4) 新会員の入会を勧誘するにあたって

会員となるには善良な成人であって、職業上及び地域社会でよい評判を受けていること。

地域社会の事業及び専門職務の代表、共同経営者で、経済的基盤が確立していること(手続要覧)。他の奉仕団体に属していない。職業分類表を参考にして未充填部門と10%ルールを適用する。若い人および女性の勧誘も必要である。

5) 新会員の素晴らしいところ

クラブ全体に活気が出る。奉仕活動に活気が出る。新しいアイデアが生まれる。既存会員に刺激になる。ITなどに詳しいのでクラブ運営委の簡素化などに役立つ。

6) 新会員を迎えて

クラブに一日も早く慣れ親しんでもらえるよう、スポンサーや同じテーブルの会員が目配りする。ロータリー情報委員会がロータリーに関する知識を教示する。孤立化を防ぐ。クラブの活発な活動を知ってもらう。例会がつまらないと退会につながる。

7) 地区目標

第2620地区は会員純増1名だが、10名ぐらいのクラブと50名以上のクラブで1名純増するのでは意味が違う。会員増強はロータリーがある限り永遠の命題である。

新会員の勧誘は1年を通しておこなっているのご協力ください。